

あなたと
議会を
つなぐ情報誌



大 網 白 里
議 会 だ よ り

第191号

発行 大 網 白 里 市 議 会
〒299-3292
大網白里市大網115番地2
電 話 0475 (70) 0390
発行人 大 網 白 里 市 議 会 議 長
小 金 井 勉



令和6年 市議会第4回定例会会期日程(案)		
開催日	開始時間	摘 要
11/29(金)	10:00	第4回定例会 開会 ・行政事務報告、議案上程ほか
12/4(水)	10:00	一般質問
12/5(木)	10:00	一般質問
12/6(金)	10:00	一般質問
12/11(水)	10:00 13:00	議案質疑・委員会付託 総務常任委員会
12/12(木)	10:00 13:30	文教福祉常任委員会 産業建設常任委員会
12/19(木)	10:00	第4回定例会 閉会 ・委員会審査報告、採決ほか

※上記はあくまでも予定であり、変更となることもあります。

令和6年第3回定例会は、8月30日から9月26日までの28日間の会期で開催されました。

本定例会では、市長提出の議案10件と令和5年度各会計歳入歳出決算の認定1件、人権擁護委員候補者の推薦に係る諮問1件のほか、請願1件と陳情5件の審査を行いました。

議案は、すべて原案のとおり可決・認定とし、諮問は、原案のとおり適任と認め、請願は、1件を採択、陳情は、1件を採択、4件を不採択しました。

一般質問は、2日間行われ、会派代表質問の4会派・11人と個人質問の5人が登壇しました。

令和6年

第3回定例会が
開催されました

市議会HPのご案内

本市議会では、開かれた議会の取り組みとして、会議録、行政視察報告書、政務活動費の報告などをHPにて公開しております。

大網白里市HP内の市議会のページをご覧ください。また、QRコードからもアクセスできます。



主 な 内 容

- 【決算特別委員会レポート】議会からの指摘事項 2
- 【常任委員会レポート】委員会の審議内容を紹介 3
- 【市政に対する一般質問】4会派11人 個人5人が登壇！… 4～8
- 採決結果一覧、行政視察受入れなど..... 8

決算特別委員会審査レポート

決算特別委員会は、9月13日、17日、18日の3日間で開催され、令和5年度の一般会計決算などについて各担当課からの説明を聴取しながら審査を実施しました。

慎重な審査の結果、令和5年度各会計歳入歳出決算についてはいずれも認定すべきものと決定しました。

決算審査報告では、各課への指摘事項に加え、歳入面において、ふるさと応援寄附金が大幅に増加しているものの、年度ごとの収入額が不安定な財源である以上、当該寄附金に頼らない安定した財源確保の検討が必要なこと、歳出面において、令和2年3月に示された「財政健全化に向けた緊急的な取組」に基づき各種経費の節減が行われているものの、義務的経費の支出が多く、財政の弾力性を示す経常収支比率は依然と高い水準で推移しており、予算を許すことができない状態が継続している点を指摘。

今後の行財政運営に当たっては、引き続き既存事業の抜本的な見直し、積極的な企業誘致や

安定した自主財源の確保等を推し進めるとともに、事業の優先度、緊急性および効果を慎重に判断した上で適正に執行すること、また、各課は、市民ニーズを的確に捉え、費用対効果を含めた各種事業の点検、検証および分析を実施し、各種検討・改善事項について令和7年度当初予算に反映するよう要望しました。

令和5年度各会計決算収支の状況

一般会計・特別会計

(単位：千円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	翌年度繰越	実質収支
一般会計	17,747,849	16,866,947	20,388	860,514
国民健康保険特別会計	5,221,738	5,172,507	0	49,231
後期高齢者医療特別会計	734,767	731,706	0	3,061
介護保険特別会計	4,840,102	4,678,422	0	161,680
土地区画整理事業特別会計	76,110	76,110	0	0

企業会計

(単位：千円)

会計名	区 分	予算現額	決算額
ガス事業会計	ガス事業収益	772,554	681,651
	ガス事業費用	772,397	693,139
	資本的収入	53,802	34,976
	資本的支出	180,871	151,679
病院事業会計	病院事業収益	2,700,447	2,689,738
	病院事業費用	2,699,008	2,631,210
	資本的収入	94,189	94,187
	資本的支出	187,878	177,161
下水道事業会計	下水道事業収益	1,644,053	1,650,858
	下水道事業費用	1,586,992	1,533,149
	資本的収入	460,265	439,885
	資本的支出	743,560	708,395

※端数の切り上げ、切り下げを行っています。

いよいよいよいよ！

議会から各課への主な指摘事項

決算特別委員会で取りまとめた各課への主な指摘事項を抜粋して紹介します。



●財政課

交付金等を有効活用し、自主財源確保に当たり、明確なビジョンを示し、財政の健全化に取り組みたい。

●秘書広報課

費用対効果を考慮し、柔軟で迅速な広報活動の充実に努め、SNS等の利活用をさらに積極的に推進されたい。

●総務課および選挙管理委員会

職員の休暇取得率向上とメンタルヘルスの充実、ハラスメント対策窓口の充実を図られたい。

通常業務、会議および研修は、効果的な方法を研究されたい。

期日前投票所の増設等も含めた、投票率の向上に努められたい。

●企画政策課

自主財源確保のため、企業誘致やふるさと納税について、より一層積極的に取り組まれたい。

公共交通は、利用者ニーズ等考慮し、公共交通空白地域を無くすべく適切な施策を検討されたい。

●安全対策課

防災意識の啓発と災害時の情報集約・発信はSNS等の活用を、津波避難施設は、費用対効果を考慮してそれぞれ取り組まれたい。

駐輪場の管理・運営は、合理的な手法を研究されたい。

防犯カメラなどを活用した防犯対策を研究されたい。

●税務課

納税意識向上の啓発、市税の収納率向上と滞納額削減、また、納税者が相談しやすい環境の整備に努められたい。

●市民課

マイナ保険証による利点を周知し、医療費抑制のための予防活動を推進されたい。

●地域づくり課

ごみの減量化、資源再利用等の効果的手法の研究や、市有バスの有効利活用を検討されたい。

●社会福祉課

生活困窮者等の就労支援や障がい者に対する生活支援および自立支援について充実を図られたい。

●子育て支援課

保育所等の適切な運営を図るとともに、子どもの安全のため防犯カメラの適切な管理に努められたい。

●高齢者支援課

各種事業のさらなる充実、周知と地域包括支援センターの強化、充実にそれぞれ努められたい。

元気のある高齢者が支える側になる仕組みを検討されたい。

扶助費のさらなる研究に努められたい。

●健康増進課

各種健（検）診事業の受診率の向上、事後指導、効果等の検証、SNS等による情報発信、また、予防医療事業に対する啓発に努められたい。

●農業振興課および農業委員会

引き続き農家への支援を行い、新規就農者の増加等を通じた強い農業づくりを目指し鋭意努力されたい。

●商工観光課

広域連携を視野に、ホームページおよびSNS等を活用した情報発信に努め、観光プロモーション事業に

取り組まれたい。

関係団体と連携を密にし、観光資源を生かした産業、商工観光の推進に取り組まれたい。

●建設課

災害を見据えた道路および河川の早急な整備と、生活道路の利便性向上と通学路の安全対策、樹木の適切な管理及び指導にそれぞれ努められたい。

豪雨時の排水対策は、市民生活の安心・安全確保のため十分に取り組まれたい。

●都市整備課

大網駅治道を含めたまちづくりや住宅耐震改修促進事業に積極的に取り組まれたい。

小中池公園再整備基本計画の策定に当たっては、早急に取り組まれたい。

市営住宅使用料の滞納額の削減に取り組まれたい。

●下水道課

下水道事業の経営健全化と施設の効率化及び長寿命化を考慮した維持管理に努められたい。

●国保大網病院

病床稼働率及び利用者のサービス向上とともに、経営の健全化に努められたい。

SNS等を活用したより積極的な情報発信に努められたい。

●ガス事業課

ガス利用のPR促進に努め、引き続きガス事業の安全対策、経営健全化に取り組まれたい。

●教育委員会管理課

教育環境における情報通信技術の積極的な活用、子どもの学習環境整

備に努め、教職員の負担軽減に引き続き努められたい。

●教育委員会生涯学習課

市の文化財のさらなる情報発信および保護に努められたい。

各種事業の開催に当たっては、創意工夫の上、適切に実施されたい。

委員長	引間 真理子
副委員長	猪崎 紀人
委員	斉藤 完育
委員	金森 浩二
委員	高野 祐二
委員	北田 宏彦

市議会政治倫理 検討会議の設置

議会では、市議会政治倫理検討会議を設置しました。

議員の政治倫理のより一層の向上を図るため、今後、遵守すべき内容や手法の検討を重ねてまいります。

請願・陳情の 受付

請願・陳情は、議会事務局において随時受付しています。

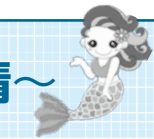
議会に提出された請願・陳情は、その内容を所管する常任委員会等での審査を経て、本会議で採択の可否を決定します。

なお、本会議での採決の結果は、提出者にお知らせします。

また、採択となった請願や陳情については、市長など関係機関に送付してまいります。

※ 令和6年第4回定例会で審査される請願・陳情は、11月21日（木）午後5時まで受け付けます。

常任委員会審査レポート ～各委員会に付託された議案・陳情～



議 会 運営委員会

議会運営委員会は9月11日に開催され、陳情1件を審査し、これを不採択としました。

●陳情第13号 市議会議員を対象とした、政治倫理条例を制定してもらうための陳情
結果：不採択

こんな意見がありました

●条例が規程か意見として何うとして、検討組織を立ち上げたので、その中で今後話し合いながら作ってほしい。
●政治倫理検討会議での検討を見守りたい。
●本陳情は政治倫理条例を制定してもらいたいとのことだが、全員協議会で聴取された意見を踏まえ基準項目を整えていただければと思う。
●願意は分かるが、近隣市町で先行しているように規程という形でスタートする方向かどうか。

委員長	北田 宏彦
副委員長	上代 和利
委員	土屋 忠和
委員	森 建二
委員	小倉 憲昭
委員	岡田 二

総 務 常任委員会

総務常任委員会は、9月11日に開催され、議案1件と陳情2件の審査をそれぞれ行いました。
議案1件は、賛成総員により原案可決とし、陳情2件は、陳情第11号を賛成総員により採択、陳情第14号を賛成少数により不採択としました。

●議案第1号 令和6年度大網白里市一般会計補正予算(第3号) 結果：可決

概要 基幹業務システムの標準化事業や津波避難タワー整備事業に係る補正予算(約1億2,658万円の増額)

Q&A
津波避難タワー整備事業について、今後のスケジュールや建設するタワーの想定規模と残る土地の活用について構想はあるのか。

答 新年度予算に建設費を計上することを予定している。タワー建設に要する土地の面積は500から600㎡ぐらいの広さを想定しているが、残る土地の活用は検討中である。

問 自転車乗車用ヘルメット購入費補助金についていつから対象か。

答 令和6年4月1日以降に購入したものが対象。問 生ごみたい肥化装置等設置費補助金について補助上限額を増額する理由は。

答 生ごみの水分を極力減らし軽くすることで本市から出るごみの総量を減らし、ごみ処理施設等への市からの負担金の軽減を図るためである。

●陳情第11号 政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情 結果：採択

こんな意見がありました

●行政が調査 確認することと適切に対応し

文教福祉 常任委員会

文教福祉常任委員会は、9月12日に開催され、付託された議案6件と、陳情1件の審査を行いました。議案については、議案第2号が賛成総員により、その他の5議案は賛成多数により原案可決としました。

陳情1件は、賛成少数により不採択としました。

●議案第2号 大網白里市介護保険特別会計補正予算(第1号) 結果：可決

概要 令和5年度決算額確定に伴う前年度給付費等の精算等によるもの(約1億6,498万円の増額)

Q&A
質疑はありませんでした

●議案第4号 大網白里市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について 結果：可決
概要 令和6年12月2日から現行の被保険者証の廃

て欲しいとの2つが読み取れ、当然やるべきなので反対する理由はないと思う。
●一定の肩書きがある方からの心理的な圧力を感じるといふこともあるので、今後 調査は必要。

●陳情第14号 市民の理解がまま進められていく道の駅を造る計画を、中止してもらうための陳情 結果：不採択

こんな意見がありました

●道の駅整備検討委員会では道の駅を造るかどうかの検討をするので議会へ説明したにもかかわらず、全くそれがなされない状況で、今からでも一刻も早く道の駅計画は中止すべきで賛成したい。
●既に場所が決まっているということではないと思うので、検討委員会の結果を待った方が適切であると思う。

委員長	土屋 忠和
副委員長	黒須 俊隆
委員	齊藤 完人
委員	猪崎 紀人
委員	上代 和利
委員	北田 宏彦

止に伴い、罰則規定を改正するもの

Q&A
こんな質疑がありました

問 本議案が否決された場合、現行の保険証のままとなると思うが、その場合の問題はあるのか。

答 国民健康保険の場合だが、現行の保険証は本年12月2日から発行できなくなる前提で国の審議が終了している。後期高齢者医療制度も同様で、本議案に承認いただけない場合は、国の制度との乖離が生じ、市民にとって制度が分かりづらくなるため不利益となる可能性が十分にある状況となる。

●議案第5号 大網白里市老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 結果：可決

概要 受益者負担の見直しを図るため、同センターに設置する通信カラオケの使用料を改定するもの

Q&A
こんな質疑がありました

問 今までのおりでは成り立たないのか。改正で誰が喜ぶのか。

答 利用料金の中で賄うためにこれを見直すことでカラオケサービスの継続ができれば考える。

●議案第6号 大網白里市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について 結果：可決

概要 コンビニ交付サービスにおける印鑑登録証明書の申請手続に係る規定を追加するもの

Q&A
こんな質疑がありました

問 証明書の種類によってコンビニエンスストアでの取得可能な時間帯が異なるのか。

答 戸籍証明書と戸籍の附票だけが平日の午前9時から午後5時まで、住民票の写し、印鑑登録証明書、所得課税証明書は、午前6時30分から午後11時まで取得が可能である。

●議案第8号 指定管理者の指定について 結果：可決

概要 子育て交流センター及び市営学童保育6施設の計7施設の指定管理者として「株式会社アンフィニ」を指定するもの

Q&A
こんな質疑がありました

問 応募のあった4社について、保育現場の確認などの実態調査はしているか。また、膨大な項目の審査が1日で行えるのか。

答 現に業務をしている近隣市町に視察に行き、内容聴取等している。なお、応募のあった現在の指定管理者へは視察等は行っていない。審査は、選定委員会を複数回開催し、審査のポイントや視点を整理し臨んでもらった。

●議案第9号 千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について 結果：可決

概要 令和6年12月2日から、マイナ保険証未取得の被保険者に資格確認書を発行するため規約中の名称を改正するもの

議案第4号と同じ質問がありました

●陳情第15号 2018年4月以前の生活保護受給者にもエアコン購入費補助を支給する、及び生活保護に夏季加算を新設することを求める意見書を政府に提出することを求める陳情 結果：不採択

こんな意見がありました

●国民年金だけの方も変わらない金額で生活されて

いると思うので、逆に生活保護受給者への恩恵が大きくなってしまふことは違うのではないかと。
●貧困にあぐら、本来、手を差し伸べなくてはならない弱い立場の人たちに対し、全く手立てをとならない国の責任であるから、是非、願意を実現させてあげたい気持ち。

委員長	森 建二
副委員長	輪 島 美津江
委員	金 森 浩二
委員	佐久間 久良
委員	宮 間 文夫
委員	岡田 憲二

産業建設 常任委員会

産業建設常任委員会は、9月12日に開催され、付託された議案3件と、請願1件及び陳情1件の審査を行いました。

議案については、全て賛成総員により原案可決としました。

請願1件は、賛成総員により採択とし、陳情第12号は、賛成なしにより不採択としました。

●議案第3号 大網白里市ガス事業会計補正予算(第1号) 結果：可決

概要 国の電気・ガス価格激変緩和対策の延長に伴い事業収益を補正するとともに集中監視システムの更新に係る経費等を計上するもの

Q&A
こんな質疑がありました

問 集中監視システムとはどのようなものか。

答 清名幸谷と白里の供給所2か所が貯蔵しているガスを監視・制御するシステムで、不具合が生じたため、入れ替える作業を行いたい。

●議案第7号 大網白里市準用河川管理条例及び大網白里市道路占用料等条例の一部を改正する条例の制定について 結果：可決

概要 県の道路占用料を参考に電柱、工作物等の占用料を改定するもの

Q&A
こんな質疑がありました

問 占用料の増額により市民の方に関わるものがあるのか。

答 直接影響のあるものは生活排水施設や宅地の出入り等があるが、規則の規定で免除となる。

●議案第10号 市道の認定について 結果：可決

概要 民間の宅地開発事業の完了に伴い市に帰属された新設道路を市道として認定するもの

こんな意見がありました

問 市道認定をする条件はあるのか。

答 市道の認定基準は、原則、自動車通行可能で基本的には行き止まりでない道路などで、構造上、幅員や勾配などの構造基準を満たしたものへ認定可能。
●請願第7号 瑞穂13区内(神房)市道の整備に関する請願 結果：採択

こんな意見がありました

●災害の際に緊急車両が通行することもあり、道路は整備されていた方がよい。

●この地区には瑞穂小学校のチャレンジ水田があり、子どもたちが使う道路なので、なおさら早く整備をしていただきたい。

●陳情第12号 市営納骨堂設立・運営に関する陳情 結果：不採択

こんな意見がありました

●場所の問題や建設費用も高額ということがある。

●本市で育ち、眠りたいという願意は尊重すべきで大事なことがあるが、今回は反対せざるを得ない。

●民間の霊園にお任せするのが妥当。

委員長	小倉 利昭
副委員長	引 間 真理子
委員	高 野 祐二
委員	石 渡 登志男
委員	田 辺 正弘



会派代表質問

様々な施策に取り組み
移住・定住の促進を加速！

自 民

斉藤 完育 議員



○農業・地域振興による移住・定住の促進について。

本市は農業を基幹産業として、これまで多くの発展を実現してまいりました。しかし、本市においても後継者不足、担い手不足は喫緊の課題となっております。

問 現在行われている新規就農者に対する支援や補助について

答 今後も農業を基幹産業として安定的に維持させていくためには、農業に関心を持つ新規就農者など新たな担い手の確保、育成が重要であると考えております。しかしながら、新たに農業経営を行う新規就農者が安定した農業経営を行っていくためには作物の栽培技術、農業経営能力の習得や農地や設備等の就農基盤の確保といった課題がございます。

そのため市では新規就農希望者に対しては、相談段階から農業経験の有無、就農の動機、希望作物、経営規模などの意向を把握した上で、それぞれ必要な情報の提供を行っております。

また、就農準備に向けた研修体制や農地の選定のほか、農業経営に必要な資金調達のための補助金などの支援制度の紹介など、新規就農者への支援については千葉県や農業委員会と連携して、就農に向けた支援を行っております。このほか千葉県山武農業事務所が主導する施策として、山武地域の市・町や農業委員会、農業協同組合等の集出荷組織が連携し、新たな担い手の確保、定着を図るため、農地や住居等の就農基盤の確保を含めた支援体制の構築に取り組んでいるところでございます。

他の自治体でも農業と空き家バンクを相互活用し、新規就農からの農

関連質問

小倉利昭 議員



問 昨今の農業を取り巻く環境は大変厳しいものがあり、そのような中において今後5年後、10年後の地域農業の在り方を具体的に明確にしていくというのが地域計画である。令和7年3月までに計画策定と聞いていたが、本市の地域計画の進捗状況はどうか。

答 市内を6地区に分け、地域計画策定に向け取り組んでいます。現在の進捗状況は、農地の所有者等を対象として実施したアンケート調査を基に、各地区ごとに農地所有者や担い手となる農業者、農業委員会などの農業関係者を交えた座談会を開き、協議を進めています。協議の場で、地域ごとの農業の現状や課題、将来の農地利用や担い手の確保などについて話し合わせ、担い手の高齢化、後継者不足、農地集積、集約化による効率化が進まないなどの課題が挙げられています。今後は、地域での話し合いを継続しながら地域ごとの課題や目標、担い手の位置づけなどを反映させた目標地図を盛り込んだ地域計画の案を作成いたします。

関連質問

土屋 忠和 議員



○堀川、真亀川付近の浸水被害と低地リスクについて

問 四天木を河口とする堀川と北今泉に接する真亀川を背負った地区の住民の不安は大雨が降った際、下水道や水路の処理能力を超えたり、排水先の河川水位が上昇した結果、溜まった水が溢れ出て浸水する現象の、内水氾濫が危惧されることです。

堀川付近、真亀川付近の住居地域に対し、水害及び内水氾濫の実態と今後の対策について、担当課の意見

をお聞かせください。

答 堀川周辺地区と真亀川付近の北今泉字北龍輪下地区は排水機場ポンプ（堀川排水機場・蛭川排水機場）を運転することで排水が出来る地形のため、適切な排水ポンプの運転管理について九十九里町や庁内関係課等にお願ひして参ります。尚、北今泉字北龍輪下地区につきましては、地区内の道路の多くが私道であることから、私道の整備補助金を活用した排水整備等の周知に努めて参ります。

関連質問

金森 浩二 議員



有償ボランティアにおける高齢者支援について

問 公共交通に際しては、コミュニティバスや、はまバスを通して頂いておりますが、瑞穂地区含む公共交通空白地域は未だに存在しています。そのような中、高齢者含む移動弱者の外出・買い物支援において、活躍している福祉有償運送を行っている団体はいくつあるか。

答 特定非営利活動法人「葵の森」と特定非営利活動法人「大綱お助け隊」の2団体です。

問 現場は常に人手不足であり、特に若い方を望む声大きい。今後の市としてどのようなバックアップを行っているのかお答えください。

答 市としては活動団体が行う支援募集に関する周知や、打ち合わせ時の施設の無償提供などを行い、市の社会福祉協議会と協力して生活サポーター養成講座を開催し、高齢者支援全般の担い手の育成に取り組んでいます。今後も福祉活動における人材育成推進により、地域ボランティア活動の活性化や活動しやすい環境づくりに取り組んで参ります。

個人質問

子育て支援は政治的立場がちがつてもいっしょにできる政策ではないか

日本共産党

佐久間 久良 議員



問 市長の公約、子ども医療費助成を今後も続けるのか。

答 子どもの健やかな成長と子育ての経済的負担の軽減を図るため引き続き、実施したい。

問 子ども医療費助成制度は、完全な無償ではない。さらなる子育て応援として自己負担分をなくすることはできないか。

答 令和5年度の自己負担金の総額は約1800万円。廃止すると当該費用を負担することになる。市の財政や財政健全化の取組である受益者負担の適正化から、保護者負担を廃止することは考えていない。

決算を見れば、これくらいの金額はある。全く無理な数字ではない。

問 国民健康保険について伺う。子育て支援が、重要ということは、市長とは政治的立場は違っても一致すると思う。しかし、国保税の均等割これは子育て支援ではなく出産ペナルティーであると言いたい。

出産ペナルティーをこのまま放置してよいのか。

答 令和4年の法改正により、世帯の経済的負担軽減を図る措置として6歳までの未就学児の均等割は5割軽減している。均等割は法律で課税が義務づけられている。法制度にのっとり適切に対応していく。

均等割をなくしている自治体は全国に広がっている。均等割をなくし、子育て応援をしている市だとアピールする必要があると思う。

問 国民健康保険法第44条の医療機関での支払いを行わなくても済む一部負担金の減免、いわゆる窓口減免の申請数と認定した世帯数、減免の理由を答えていただきたい。

答 災害救助法が適用された令和元年度の台風15号及び大雨の災害にて居室が床上浸水以上の被害に遭われた被保険者を対象に、17件からの申請があり、17世帯25名の認定をしたところですが、現在まで、それ以外のケースにおいて申請・認定の実績はありません。

44条では、災害だけでなくコロナ禍などで失業や経済的悪化などの困窮も対象となる。国会では助成するとしている。積極的に取り組むべきではないか。

問 現在、基金が約5億円ほどあると思う。積極的に活用して国保税を下げたい。

答 国保財政調整基金の活用は、中長期的な視点から、今後も安定的な国保運営に努めてまいりたい。

国保税があまりにも高過ぎて滞納世帯も増えている。市民の苦難を軽減するために、市民に寄り添うことが自治体の使命ではないではないか。国保税の引下げを今後も求めてまいりたい。

問 ジェンダー平等を、学校ではどのように取組んでいるのか。

答 教育全体を通じて人権の尊重やジェンダー平等、男女共同参画などを学び、互いの違いを認め合い、自分らしく生きる心が育まれるよう、指導の充実を図っている。また、子どもたちが性別にとらわれることなく自らの生き方を考え、自分の意思と責任で進路を選択・決定する能力を身につけられるよう、進路指導の充実、キャリア教育の推進を図っている。

今後ジェンダー平等の推進に向け、児童・生徒・教職員等の意識啓発に努めていきます。

よろしく願ひしたい。

会派代表質問

公明党

引問 真理子 議員



未来へつなぐ住みたい街づくりを目指して

問 带状疱疹ワクチンについて

80歳までに3人に1人が発症、ほぼ全ての日本人が発症のリスクを持っている疾患です。50歳以上で発症した人のうち、約2割が带状疱疹後神経痛になると言われています。だからこそワクチン予防の体制が重要と考えます。千葉県では54市町村のうち、7月で28市町村が公費助成を行っています。

既に先行している自治体での接種率と状況、国の動向について

答 現在、助成を実施している28市町村の状況、生ワクチンと不活化ワクチン両方の助成が21市町村、不活化ワクチンのみの助成が7市町村で平均接種率は2.4%、助成額は、生ワクチンが1人につき1回で2千円から4千円となっており不活化ワクチンが1人につき2回までで5千円から1万円となっております。今後の定期接種化に向けた動向は定期接種化に向け対象年齢やワクチンの種類などの詳細について、具体的な検討を進めると伺っている。

※ ワクチン接種には高額な医療費が大きなハードルになっていると言われます。働き盛りで社会的にも重要な役割を果たしている50歳から65歳を対象とすることは、行政サービスが少なくなるこれらの年齢層に対して、非常に有益な政策となり得ます。国の定期接種はいつになるかわかりません。人生百年時代に向けたかかる医療費の抑制、労働生産の向上維持ができ、社会全体の利益につながるかと考え、安心を手に入れる住民が増えていくワクチンであることから、50歳以上対象の市独自の費用助成制度の早期導入を強く要望したいと思っています。

問 心の健康について、鬱病などの精神疾患の患者が増加傾向にあり、厚生労働省が3年ごとに実施している患者調査によると患者数は2017年の約419万人から2020年には約615万人に増え、5人に1人が一生のうちに、何らかの精神疾患になるという研究結果もあり、誰もがかり得る病気であると言われています。

相談支援の充実と支援体制、心のサポーター養成事業について

答 心のお悩み相談会は令和5年度から月1回保健センターを会場に中核地域生活支援センターの精神保健福祉士等が相談員として個別相談を行っている、昨年度の相談者は10代から70代の延べ26人で相談後は健康増進課の保健師が情報を共有し随時相談を受けたり、中核地域生活支援センターの職員と保健師が、自宅を訪問するなど継続支援の対応をしております。心のサポーター養成事業は精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう、地域の皆様にメンタルヘルスの初期対応を広く普及する重要な取組であると認識しており指導者を養成し出前講座等を活用、本事業を実施してまいります。

問 災害時の情報発信の流れSNSを活用した、通行止め冠水場所の細かい情報提供について

答 災害時の情報提供として避難指示や避難所開設、停電、断水等、防災行政無線や市ホームページ、SNS等を活用し周知に努めている。冠水や浸水に伴う道路通行止めに係る情報提供について情報を把握次第、市ホームページで速やかに周知、今後はSNSによる周知も取り組む。

関連質問

上代和利 議員



問 市のダンボールベッドの所有数と今後の対応について

答 市のダンボールベッドについては、現在5個保有し、配置場所の明確な計画はない。福祉避難所を併設する中央公民館や白里公民館など、優先的に開設する避難所への配置を検討しています。なお、先月、民間会社から20個のダンボールベッドの寄付の申し出があり、市においても計画的に整備してまいります。

問 災害時における各種協定を結んでいる事業者との話し合いについて

答 災害時における協定を62の民間業者などと締結し、協定上は、市から応援要請に基づき各種支援を頂くこととなっており、協定企業とは、協定事項の内容確認や人事異動による窓口担当者の確認を毎年定期的に連絡調整しています。引き続き、災害時に速やかに被害情報を収集するとともに、必要に応じて協定締結事業者へ支援を要請してまいります。

問 今後高齢者、障がい者、女性に配慮したトイレの考え方について

答 市地域防災計画においては、災害発生初期段階では、市が備蓄している簡易トイレや仮設トイレを各避難所に配置することとしています。質問の通り、簡易トイレは衛生上の課題が指摘されており、災害の発生規模によっては、現在、市が備蓄する仮設トイレだけでは不足する場合も考えられるため、必要時には協定企業に対して速やかに仮設トイレの設置を要請する他、千葉県、県内市町村に対しても要請してまいります。

また、他に災害時要援者に対する避難対策について、避難所・公共施設へのWi-Fi環境整備について、避難所開設訓練についてなどを質問をさせていただきました。

関連質問

輪島美津江 議員



問 社会福祉行政について

社会福祉とは「すべての人が心身ともに健やかに人間らしい生活を送れるように支えるための公的な制度、また、公的な援助やサービス」とあります。その活動を推進する中核的な団体としての社会福祉協議会は私達の日々の暮らしを支える、とても重要な存在ですが、その認知度は十分とは言えません。そこで、社会福祉協議会はどのような事業・活動を行っているのか伺います。

答 主な活動として地域福祉の推進のために社協だよりを通じた社会福祉に関する広報や啓発活動、心配ごと相談や法律相談などの総合相談事業、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送れるように生活支援体制整備事業の展開。また、市内5地区にある各支部では高齢者の見守り活動、子育て世代や高齢者向けのサロンなどを実施しています。ボランティア活動の周知では地域福祉に関わるボランティアグループの登録とホームページ等での公開。問合せを頂いた場合には活動の概要紹介やボランティアグループとの連絡調整を行っています。災害時には災害ボランティアセンターを立ち上げて、情報収集やニーズに応じたボランティアの派遣を行っています。

問 地域福祉は幅広い角度で様々な分野の方々が関わって成立していますが、その中で本市の主任児童委員の状況について伺います。

答 主任児童委員は児童福祉法の規定により、児童委員の中から厚生労働大臣が指名するもので具体的な活動として子育てサロンへの参画、小中学校において開催の会議や要保護児童対策地域協議会に参加し、関係機関との連携を行っています。

個人質問

災害時及び産業用・観光用に地下水利用の検討を！

黒須俊隆 議員



問 防災井戸の手押し式、電動ポンプ式のそれぞれの数は。

答 避難場所や避難所となる中央公民館や小・中学校に設置している26か所全て手押しポンプです。

問 電動ポンプによるものと比べる手押し式は非効率で、どの程度の人数をさばくことができるか。

答 手押し式ポンプについては、設置箇所にもよることから、どのくらいの人数をさばくかというようなデータは取っておりません。

問 住宅用井戸の状況について、市は情報を持っているか。

答 各家庭において設置されている個人所有井戸について、平成14年に住宅用井戸を所有する市内の412世帯に対して、災害時における個人所有井戸に関する協力の調査を実施しています。結果、220件の承諾が得られています。

問 電動ポンプ式の井戸では停電時には使えない。優先的に発電機を貸し出したり、発電機購入の補助をする、あるいは水質検査の調査を行うなどの考えはあるか。

答 個人所有の井戸を使用する場合は所有者の了解と災害協定の締結などが必要となります。現時点では、災害時に発電機を貸し出すことや、井戸の水質検査、発電機購入の助成制度はありませんが、個人所有の井戸の活用については、今後研究していきたいと思っています。

問 季美の森近くの金谷郷地先に残されている元水道用施設はどのようなものか。

答 金谷郷地先の水道用地跡地については、昭和39年に設立された大網白里町営水道の浄水場で、ここで地下水をくみ上げ浄水し、町内に供給

してしました。昭和49年に構成市町村の水道施設を合わせた末端給水事業を行うため山武郡市広域水道企業団が設立され、当施設は、山武郡市広域水道企業団設立時に企業団の所管となり、昭和54年まで使われていましたが、大網配水池から給水するよう系統を切り替えたことからその役目を終え、平成2年に町に返還されたものです。

問 この元水源地を市が災害用に利用する、あるいは民間ボランティア等へ貸し出しはできるか。

答 この用地が水源として利用できるか、市では確認ができていません。市でも把握できていない強固な施設それから敷地内には埋設物等も考えられますので、活用するのは難しいと考えています。民間業者が独自に調査したいということであれば、検討しますが、市が独自に調査することとは考えていません。

問 もともと町営水道として使っていた施設で仮に飲料水として使えるのであれば災害時だけでなく、産業用や観光用にも使えるのではないのか。法的制限はあるのか。

答 地下水の採取は、工業用水法、建築物用地下水の採取の規制に関する法律、県条例などによって制限がされていますが、本市は対象区域外です。大網白里市環境保全条例による届出が必要となります。飲料水として利用する場合は別途使用者による水質調査が必要となります。

市内にはお茶やクラフトビールの会社がある。産業用や観光用に地下水が利用できたら、産業育成とともに市のイメージアップにもつながると思う。水源として利用できないかどうか調査・研究を要望する。

会派代表質問

政 真 会

国や県の支援をチャンスに、
率先垂範な営業活動で企業誘致を

猪崎 紀人 議員



○企業誘致について

問 地域未来投資促進法により、地域の特性を生かした事業を地域経済牽引事業と位置づけ、市街地調整区域の開発許可や、税制優遇措置など、様々な支援策があります。この地域未来投資促進法を活用した企業誘致を行っていますか。

答 千葉県は、地域未来投資促進法に基づく第2期基本計画を策定し、千葉県全域が促進区域に指定されていますので、本市に進出する事業者も、地域未来投資促進法に基づく各種支援措置の活用が可能です。しかし本市では、現在、当該計画に関連した誘致活動は行っておりません。

問 本市の企業誘致奨励金制度の交付状況は。

答 現時点で1件のみです。

問 企業誘致は、民間企業で考えれば営業活動が最も重要と考えますが、企業誘致の営業活動として、どのような営業計画を策定し、何件企業訪問を行っていますか。また、企業誘致のための情報収集は。

答 本市にはみどりが丘市有地以外に企業誘致が可能な市有地がなく、積極的に誘致活動を進めることが難しい状況です。そのため現時点では、直接企業を訪問するなど、誘致活動は行っておりません。

問 企業立地に成功した地方自治体を見ると、トップセールスをせずに成功は殆どありません。本市の市長はどのようなトップセールスをされましたか。また、市長は企業誘致をどのように考えていますか。

答 企業誘致については、雇用機会の創出や法人市民税、固定資産税など、安定した税収の確保につながるなど、地域経済全般にわたり相乗的

な波及効果が期待されるものと考えています。国道128号の4車線化や圏央道の全線開通といった、将来的な交流圏の拡大を見据え、企業が進出しやすい環境の整備に取り組むとともに、私自身もこれまで以上に企業と直接対話する機会を持つよう努力し、本市への企業誘致につなげていきます。

問 農業のフランチャイズを行う大規模農業法人など、農業法人の誘致は考えていますか。

答 農業法人の誘致は現在、特段の活動は行っておりませんが、市内で営農している集落営農組織などの法人化に向け、支援を行っています。これまでの法人化の支援を継続するとともに、市外の農業法人に対する誘致活動も調査研究します。

○農業政策について

問 農家の後継者不足の対策は。

答 農業に関心を持つ新規就農者など、新たな担い手の育成や、担い手への農地の利用集積、集約化の推進など、農業経営基盤の強化を図っています。

問 スマート農業推進について、現状どのような状況ですか。

答 本市農業者によるスマート農業技術の導入は、施設園芸用ハウス内の温度調整など、栽培環境の最適化を図る環境モニタリング装置や、ドローンを活用した農薬・肥料散布などに取り組んでいます。

問 スマート農業推進には、国からも様々な補助事業がありますが、補助金の情報提供や申請のサポートなどは行っていますか。

答 導入を検討されている農業者に、補助事業を活用するため情報提供や、計画作成などの支援を行っています。

問 今年には特にジャンボタニシの被害が大きいと聞きますが、ジャンボタニシに対する被害防止対策やサポートはありますか。

答 ホームページにおいて、防除対策マニュアルの周知に努めるほか、農家組合など農業者団体を対象に、千葉県の補助事業を活用した支援をおこなっています。

○環境問題について

問 千葉県の令和3年度のPFAS（有機フッ素化合物）調査で、本市細草の地下水より暫定指針値の50ng/Lに近い41ng/Lの数値が計測されています。ところが令和4年度調査では細草は除外され、計測していません。再調査が必要ではないでしょうか。

答 水道水を供給している九十九里地域水道企業団では、全ての施設で基準値を下回っています。細草の地下水の数値も、暫定指針値の基準値を下回っているため、千葉県は次回令和7年度に調査予定です。

その他、地球温暖化対策実行計画の進捗、食品ロス削減ターゲット、野焼きの許容範囲、不法投棄防止策について質問しました。

関連質問

森 建二 議員



○企業誘致について

問 企業誘致。固定資産の投下と労働場所を提供する事は大きな税収に繋がる。問合せ、対応状況は。

答 令和5年度の相談件数が7件。資材や車両置場、アウトドア施設、子育て支援施設、技能訓練場等に関するものです。今年度は2件。高齢者施設、サッカー場の整備に関するもの。多くがみどりが丘市有地の一部利用の希望で、有効活用に繋がり難く周辺の住環境・教育環境への配慮から誘致には至っていません。

問 市内には整備された工業団地がない。営業のためにはどれだけ網を広げるかなんかと思う。私も旅行会社で25年間営業企画をした。民間企業は生き残るために必死。現在の市も生き残りをかけた誘致営業が課題。次に都市計画法に基づく区域区分、いわゆる市街地調整区域の「線引き」。廃止又は解除できないのか。

答 昭和48年に建設大臣の指定を受け、昭和58年に市域の一部、平成元年に市の全域に区分指定を行いました。平成12年に都市計画法が改正、県が都市計画区域マスタープランで方針を示す事となった。本市の人口は減少中だが世帯数が増加傾向にある事から区域区分を継続する、との方針が示された。市では平成28年1月「市街地調整区域における土地利用方針及び地区計画運用基準」を策定、大網駅周辺や国道128号沿道など、市街地調整区域に土地所有者や事業者の提案による地区計画を決定する事で商業業務施設等の立地を可能としています。更に令和4年4月に千葉県から開発行為の許可に関する事務等の権限移譲を受け、土地利用の促進に努めています。

市街地調整区域であっても企業誘致ができる。強く発信しましょう。

問 次に大網白里スマートIC周辺。答 スマートIC周辺は土地利用規制により開発整備は難しい。その他国道128号及び県道千葉大網線沿道エリアにつき「地域未来投資促進法」に基づく土地利用調整制度の活用方法と併せて研究して参ります。

問 ぜひ企業立地・誘致、デベロッパーへの営業を行って頂きたい。成田市を見習い、民間との連携も視野に。線引きの見直しについても、私たちが関東のファーストペンギンになれるよう、考えて参りましょう。

※その他、環境問題（環境対策給付金、市の脱炭素活動）、観光政策（海水浴場の現況、観光の通年化）について問い質しました。

個人質問

入札参加制度について

岡田 憲二 議員



問 本日私は、市民の皆様より我々に与えられました二元代表制の本旨に基づいた質問をします。それでは令和4年5月に制限付一般競争入札参加資格要件設定基準を改正した点について伺います。

内容はいかなるものか、また、改正した根拠について伺います。

答 本市の入札では、土木一式工事、建築工事、舗装工事の3つの工種ごとに、それぞれ発注金額の高い順からA、B、Cの区分で登録されている業者が入札に参加できる仕組みとなっている。質問の本市における制限付一般競争入札参加資格要件設定基準については、近年の発注状況を勘案し、令和4年5月に改正したところ。具体的な改正内容について、土木一式工事を例にお答えすると、従来、発注金額が600万円以上1200万円未満の工事については、格付がA又はBである業者が参加が可能とされていたが、これを300万円以上1200万円未満に見直しを行なったもの。次に改正の目的は、令和2年に策定した財政健全化に向けた緊急的な取組みに着手して以降、本市が発注する工事設定額の規模が縮小し、市内業者間での入札参加機会のバランスが偏ってきたため、市内業者間での入札参加機会の均衡を図るとともに競争性を確保する目的に、市内の入札参加資格委員会にも諮りながら見直しを行なったところ。

問 入札参加資格委員会に諮って見直しを行なったということですが、それならば会議録がありますね。その会議録は閲覧できますか。

答 大網白里市情報公開条例に基づく公開は可能です。

問 今回この質問するに当たり、市建設業協会、市建設業災害対策協力会等複数の方々と面談し調査した結果を質問しているが両組合員等しく話してくれたことがあった。それは、市建設業協会の会長より会長印の押されたこのことに関する要望書が市に提出されていた、ということであったが事実でありますか。

答 要望書は令和4年4月11日に受領いたしました。

問 実際そういうことはあったということですね。それではこの基準を改正するという点、改正の内容を建設業協会、災害対策協力会の皆様に説明いたしましたか。

答 市の入札制度の見直しのため事前に業者に対する説明はしていない。業者にとってはこれほど重大な基準改正を当事者たる業者に対し相談もしない、意見も聞かないで、いきなり改正を実施したことは明らかに行政側の不作為だと私は思っている。行政としてはあつてはならないことではないか。改正により不利益を被った事業者はいなかったのか。

答 市内業者の入札機会の均衡が図られたと考えている。

問 私が聞いた業者は以下の話をしてくれた。それは、改正前はなかったことが現在起こっている、同じ協会員、同じ協力会員同士がたたき合っている。何とも情けないのが現状。現在はAクラスの独壇場である300万円以上の参加業者が増加したため参加業者は必然的に増え、結果はたたき合い。300万円以下の入札は年間4本か5本。Cクラスは皆本当に困っているとのこと。この実例に鑑み令和4年に改正した現行基準をさらに改正するべく検討を進めることを強く要望して終わります。

会派代表質問

自由民主党の会

「JRの通勤快速大幅減便」について

北田 宏彦 議員



JR東日本は9月1日、再びダイヤ改正を行い、一部の各駅停車が快速に変更され、平日7本、土曜日・休日12本の快速が復活した。

千葉市など複数の沿線自治体から不満が相次ぎ、僅か半年で再びダイヤ改正が行われた。しかし、速達性・利便性については一部改善されたものの、まだ不十分である。引き続き千葉市など外房線沿線自治体と緊密に連携をし、要望活動などを行い、外房線の都心部への速達性の確保、利便性向上に取組んで頂きたい。

問 「子ども家庭センター」の設置について

法改正により、令和6年4月から「子ども家庭センター」の設置に努めなければならない事となった。

出産前から子育て期に係る切れ目ない支援を行う事により、子ども支援施策を効果的に行う事ができるが、本市が設置しない理由を伺いたい。

答 子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の連携が図られているので設置に至っていない。問 今後、設置する考えがあるか。

答 令和9年度までに子ども家庭センターを設置する予定。本市は政策的に子育て支援を行って施設等を充実させてきた。「こども家庭センター」を設置することで、子ども支援施策をより、効果的に行うことができる。

政策の一貫性を注視していく。問 ふるさと応援寄附金について

寄附額の推移と今年度の状況について伺いたい。

返礼品のお米人気が高まっている。この機会に返礼品の魅力をもPRし、新たな寄附につなげて頂きたい。

問 今後の展開について伺いたい。

答 今後の展開については、ふるさと納税自動販売機の拡大を図り、取り組んでいく。

先進自治体の取組など情報収集に努め、寄附額の増加に努めていきたい。

問 寄附金の使途について伺いたい。

答 寄附額のおおむね5割は返礼品等の経費に充て、事業項目に活用される財源は5割相当額となる。使途の指定がない4億5856万6千円の5割相当額について、市の財源として基金に積立て管理している。

問 使途の内訳について伺いたい。

答 個別具体的な事業への充当は行っていない。

問 他の自治体は、寄附金の具体的な使途について公表し、更なる寄附につなげている。

本市も使途の内訳を公表してはいるか。

答 提案いただいた寄附の具体的な使途公表について調査研究したい。

財源不足の穴埋めと考えるのではなく、ふるさと応援寄附金を未来につなげる施策事業に生かしていくべきではないか。

市道の舗装、除草など維持管理が適正にされていない。舗装は荒れ、雑草が繁茂している。

市道の総延長距離と舗装補修に係る予算の推移について伺いたい。

答 認定路線の総延長は、約617km。舗装補修事業に係る費用は、令和2年度、915万7千円、令和3年度、871万8千円、令和4年度、

1874万5千円、令和5年度、3104万2千円、令和6年度、4168万6千円。

令和元年度から予算が削られて、令和5年度、6年度と増額したが、もともとの予算が少な過ぎる。

問 近隣市町の道路維持管理の予算額について伺いたい。

答 令和5年度、東金市、2330万円、山武市、1億1228万円、横芝光町、9381万円、九十九里町、3369万円。

問 近隣市町と比較して舗装は荒れ、雑草も繁茂している。本市の市道の維持管理は適正かつ効率的に行われているか。

答 予算を有効に活用し適正な維持管理の効率的な執行に努めている。

現状、市道の舗装、除草などの維持管理が適正になされていない。

なぜなら道路維持管理の予算額が全く足りていない。

問 今後どう対応していくのか。

答 引き続き、効率的かつ効果的に道路の維持管理に努める。

道路維持管理に係る予算が少な過ぎる。市長、財政課長、このことを念頭に予算編成をお願いする。

関連質問

田辺正弘議員

問 今議会の市長事務報告において「市のガス事業が厳しい経営状況にあり、適切な料金水準を検討する」と伺ったところであります。そこで概要と経過及び令和5年度の決算状況について説明をお願いします。

答 本市のガス事業は、令和5年度末現在で、1万2405件へ都市ガスを供給し、一般家庭の需要が販売量の約85%であり、平成27年に料金改定を行い、以降その水準を維持。決算では2221万8千円の純損失を計上。人口の減少や気温の上昇によりガス使用量が減少、労務単価や

原材料価格等の上昇による工事費や委託料の高騰などが要因です。

問 今年度の収支見込み、来年度以降の収支の想定は。

答 昨年度と同様に気温が高いと仮定した場合は厳しく、現在の料金水準では更に厳しい経営状況になる。

問 近隣市町のガス料金を見ても、現在の本市のガス料金は相当安いと言えます。市は料金改定に向けた検討を早急に始めるべきと思うが。

答 令和5年度のガス事業会計決算を踏まえ、ガス料金の改定に向けた検討を進めて参ります。

問 瑞穂小学校通学路の安全対策では、合同点検において2箇所の危険箇所が報告され、児童数407名中、約70名の児童が通学しており、その中の1箇所においては、私が平成28年第1回定例会において、一般質問した箇所になります。歩道整備だけではなく、この危険な交差点の改良工事が必要と考えます。そこで合同点検後の教育委員会ならびに瑞穂小学校と市（道路管理者）側は、どのような対策を取っているのか。

答 学校では、交通安全教室の開催をはじめ、様々な内容での安全指導を行っており、交通安全については教職員が定期的に通学路に立ち、児童の通学状況を確認するとともに、状況に応じた安全指導を行っております。また地域・保護者の方々にもご協力をいただき、登下校時の見守り活動が行なわれております。今後も、子どもたちの命を最優先に考え、学校における安全指導、とりわけ交通安全意識の醸成に努めていきます。

令和3年度に実施した通学路の緊急点検で、通過交通に対する注意喚起として、路面標示（学童注意）を実施し、令和4年5月に完了しております。旧国道128号瑞穂小学校入口交差点を含む歩道の整備では、関係地権者に引き続き、ご理解、ご協力を得られるように努めます。

大網駅周辺の環境について

問 通勤・通学時間帯の送迎時の渋滞について

答 大網駅前広場の渋滞解消対策につきましては、平成28年3月に駅前広場内の路面表示を見直し、混雑の原因となっていた一般車両の駐車車を控えていただき、送迎の際の短時間での乗降にご協力いただくこととし、駅前広場の適正利用を促すため、チラシの配布、市広報紙やホームページの周知、誘導員を現地に配置し、普及に努めてまいりました。

また、平成29年3月には、利用者の安全性と利便性に配慮した再整備のための具体的な計画として大網駅前広場再整備計画を策定するなど、解決策を模索してまいりました。

また、現在の限られたスペースでは抜本的な混雑の解消は困難であり、大網駅南口に駅前広場を整備するなど容量拡大を図ることが必要との結論に至ったところです。

また、待機場所を確保して混雑を解消してはどうかとの提案ですが、大網駅に近接し待機場所に適した市有地は見当たらず、駅近傍の民間用地は駐車場として整備されており、民間用地を活用した待機場所の確保は難しいところではありますが、そのような発想も念頭に置き、引き続き渋滞の改善に努めてまいります。

問 大網白里スマートIC周辺地域の目標像についてですが、平成28年3月に、土地利用方針が作成されています。開通してから5年が経過していますが、目標像がどのように推移しているのか。また道路配置の考え方で3・3・1瑞穂下駒込線の延伸化の推進とありますが、どのようなものになっているのかお答え下さい。

答 スマートIC周辺及び小中池公園周辺につきましては、現在、小中池の周辺環境を生かした公園機能の拡充を図るため、再整備の方向性について検討が進められています。また、国道128号沿道におきましても、市街化調整区域における土地利用方針及び地区計画運用基準などの活用により着実に商業・業務機能の誘導が図られているところです。引き続き、目標像の実現に向け必要な施策に取り組み、令和8年度の圏央道全線開通による経済波及効果を取り込むためにも、将来的にスマートICと一体となった土地利用が期待されている近接エリアの効果的な活用方法についても調査研究してまいります。

都市計画道路3・3・1号瑞穂下駒込線は、国道128号とみずほ台の主婦の店前交差点を結ぶ延長1.7キロメートル、標準幅員25メートルの4車線の計画道路です。当該道路を延伸することにより、交通量の分散による駅周辺の交通渋滞緩和や、スマートICと市街地を結ぶアクセスの向上、さらには、圏央道を利用した産業・観光振興による地域活性化など様々な効果が期待されます。

また、国道128号から旧国道までの未整備区間の整備につきましては、JR外房線を立体交差する跨線橋の建設に膨大な工事費が想定されます。このようなことから、当該道路の延伸及び整備につきましては、今後の人口減少をはじめとする社会的経済情勢や都市構造の変化など総合的に勘案した上で、長期的な視点に立つて研究してまいります。

その他、大網白里スマートICの利用状況を質問しました。

駅周辺、交通機関の整備について

高野 祐二 議員

答 スマートIC周辺及び小中池公園周辺につきましては、現在、小中池の周辺環境を生かした公園機能の拡充を図るため、再整備の方向性について検討が進められています。また、国道128号沿道におきましても、市街化調整区域における土地利用方針及び地区計画運用基準などの活用により着実に商業・業務機能の誘導が図られているところです。引き続き、目標像の実現に向け必要な施策に取り組み、令和8年度の圏央道全線開通による経済波及効果を取り込むためにも、将来的にスマートICと一体となった土地利用が期待されている近接エリアの効果的な活用方法についても調査研究してまいります。

都市計画道路3・3・1号瑞穂下駒込線は、国道128号とみずほ台の主婦の店前交差点を結ぶ延長1.7キロメートル、標準幅員25メートルの4車線の計画道路です。当該道路を延伸することにより、交通量の分散による駅周辺の交通渋滞緩和や、スマートICと市街地を結ぶアクセスの向上、さらには、圏央道を利用した産業・観光振興による地域活性化など様々な効果が期待されます。

また、国道128号から旧国道までの未整備区間の整備につきましては、JR外房線を立体交差する跨線橋の建設に膨大な工事費が想定されます。このようなことから、当該道路の延伸及び整備につきましては、今後の人口減少をはじめとする社会的経済情勢や都市構造の変化など総合的に勘案した上で、長期的な視点に立つて研究してまいります。

その他、大網白里スマートICの利用状況を質問しました。

個人質問

市民生活の豊かさ！

宮間 文夫 議員



問 交通弱者の支援強化について。

答 交通弱者への支援強化につきましては、本市でも欠かせない施策として推進しており、中でも高齢者に対する買物支援は、移動販売事業をはじめ、移動手段のない方への有効な支援策の一つとして取り組んでおります。介護施設のデイ・サービス事業所におきましても買物を取り入れた機能訓練を実施している事業所がございます。

問 スポーツ人口の裾野を広げるため、学校の部活動や地域のクラブ活動への子ども参加を増やし、学校と地域が協働・融合した形での地域におけるスポーツ環境整備の支援を行うことについて伺います。

答 中学校の部活動におきましては、学習指導要領に、生徒の自主的・自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、学校教育の一環として教育課程との関連が図られるよう留意することと示されております。

市教育委員会では、令和5年9月に校長会議において大網白里市部活動に関わる活動方針を策定し、教職員の働き方の見直しと学校部活動の在り方に関して位置づけたところであります。今後は、持続可能な部活動として、子どもたちが目的や嗜好に応じたスポーツ・文化芸術活動を選び実践できるものとなるよう取り組むため、年内に、教職員に加え、部活動に関わる児童・生徒及び保護者に対してアンケート調査を予定しております。

このアンケート結果を受けて、3

つの中学校の部活動の在り方や地域単位の活動などを調査検討するための協議会を立ち上げ、スポーツ・文化芸術活動が持続可能なものとなるよう取り組んでまいります。

問 経常収支比率は、前年度比0.3ポイント増の99.8%となり、予算を許さない状況となっております。説明いただけますが、もう少し詳しくご説明いただけないでしょうか。

答 地方公共団体の財政指標で、人件費、扶助費、公債費などの毎年度経常的に支出される経費に、市税、地方交付税、地方譲与税などの経常的な収入がどの程度充当されているかを表す指標です。この比率が100%に近づくほど、経常的に収入されるお金を毎年必ず払わなければならない経費に充てていることになり、ますので、財政が硬直化している状態、いわゆる家計に余裕のない状態ということになります。

さらに、将来的な財政需要の増加傾向も踏まえ、予算を許さない状況にあると判断したところでございます。

問 永田駅前トイレの管理、例えば清掃等は、どのようにお考えでしょうか、お伺いいたします。

答 公衆用トイレとして市が引き継ぎますので、管理費用は市が負担することとなります。日常清掃につきましても市が実施いたします。

問 ガス事業についてお尋ねいたします。

答 酷暑乗り切り緊急支援で8月、9月、10月と値引きとなります。11月以降につきましては、現時点において国からの支援の情報はございませんので、追加支援策が示されない場合は現行のガス料金となります。

令和6年市議会第3回定例会 採決結果一覧

出席議員の総員が賛成した議案等

議案等番号	件 名	結果	議案等番号	件 名	結果
議案第2号	令和6年度大網白里市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可	議案第10号	市道の認定について	可
議案第3号	令和6年度大網白里市ガス事業会計補正予算（第1号）	可	諮 問	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適
議案第7号	大網白里市準用河川管理条例及び大網白里市道路古用料等条例の一部を改正する条例の制定について	可	請願第7号	瑞穂13区内（神房）市道の整備に関する請願	採

賛否が分かれた議案等

※結果欄の意味は次のとおりです。「○」＝賛成 「×」＝反対 「欠」＝欠席 「可」＝可決 「同」＝同意 「否」＝否決 「採」＝採択 「不」＝不採択 「棄」＝棄権 「承」＝承認 「認」＝認定 「適」＝適任と認める ※小金井 勉議員は議長であり、採決に加わりません。		結 果	齊藤 完育	金森 浩二	高野 祐二	輪島美津江	猪崎 紀人	土屋 忠和	引間真理子	上代 和利	森 建二	小倉 利昭	小金井 勉	佐久間久良	北田 宏彦	石渡登志男	田辺 正弘	宮間 文夫	黒須 俊隆	岡田 憲二	賛 成
議案等番号	件 名																				
認定第1号	令和5年度大網白里市各会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○	○	○	○	○	16
議案第1号	令和6年度大網白里市一般会計補正予算（第3号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	×	15
議案第4号	大網白里市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○	○	○	×	×	14
議案第5号	大網白里市老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	×	○	×	○	○	14
議案第6号	大網白里市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○	○	○	○	○	16
議案第8号	指定管理者の指定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○	○	○	○	○	16
議案第9号	千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協約について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○	○	○	×	○	15
陳情第11号	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情	採	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○	○	○	○	○	16
陳情第12号	市営納骨堂設立・運営に関する陳情	不	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		○	×	×	×	×	○	×	2
陳情第13号	市議会議員を対象とした、政治倫理条例を制定してもらうための陳情	不	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		○	×	×	×	×	○	×	3
陳情第14号	市民の理解がないまま進められている道の駅を造る計画を、中止してもらうための陳情	不	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		○	×	×	×	×	○	×	2
陳情第15号	2018年4月以前の生活保護受給者にもエアコン購入費補助を支給する、及び生活保護に夏季加算を新設することを求める意見書を政府に提出することを求める陳情	不	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		○	×	○	×	×	○	×	3

議会 日誌

令和6年 7月

17日 富山県高岡市議会

総務文教常任委員会

行政視察受け入れ

8月

23日 議会運営委員会・全員協議会

30日 市議会第3回定例会 開会

決算特別委員会

9月

4日 一般質問 3会派9人

5日 一般質問 1会派2人

個人5人

11日 議案質疑・委員会付託

議会運営委員会

議会政治倫理検討会議

総務常任委員会

文教福祉常任委員会

産業建設常任委員会

13日 決算特別委員会

17日・18日 決算特別委員会

26日 議会運営委員会・全員協議会

市議会第3回定例会 閉会

10月

4日 議会だより編集委員会

ようこそ 大網白里市議会へ

7月17日、富山県高岡市議会総務文教常任委員会の方々が行政視察のため来庁されました。

小金井議長の歓迎あいさつのち、視察テーマ「デジタル博物館について」として、教育委員会生涯学習課担当者から本市のデジタル博物館の説明と、実際に発掘された土器などの見学が行われました。



富山県高岡市議会 総務文教常任委員会の皆さん

編集後記

過去、最も遅い猛暑日を更新した今夏でしたが、それでも、やっと秋の気配を感じる今日この頃、皆様、お変わりありませんでしょうか。

夏の疲れをリセットして食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋と、秋を楽しみたいと思います。議員となつて4回目の定例会では一期目の議員5名全員が一般質問に立ちました。試行錯誤を重ねながらの議員活動ですが、市民の皆様のお声にお応えして参る決意です。また、議会だよりは、若い世代の方にも議会の活動に興味を持って頂ける紙面を心がけて発信していきたいと思ひます。皆様の率直なご意見、ご感想をお聞かせ頂ければ幸いです。

市議会は、1年に4回（2月、6月、9月、12月）定例会を開きます。議会だよりでは、各定例会の審議内容や一般質問の内容等をお知らせしていますが、紙面の都合上、すべてを掲載することができません。本会議の内容をご覧になりたい方は、市役所本庁舎1階行政情報コーナーまたは図書室（保健文化センター2階、中部コミュニティセンター、白里公民館）で会議録をご確認ください。

議会だより編集委員会

委員長 田辺 正弘

副委員長 金森 浩二

委員 高野 祐二

委員 輪島美津江

委員 猪崎 紀人

議会事務局 Tel (70) 0390